

## 杉並区立西田小学校 令和元年度第 1 回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和元年 5 月 20 日（月） 17 時から 18 時 45 分
- ・場所 図書室
- ・出席者 諏訪会長
  - 【委員】鈴木校長、恵羅、望月、山内、中澤、半澤、渡邊、目黒、檜枝（記録）
  - 【教育委員会】市川、小林
  - 【事務局】新井副校長
- ・配布資料 資料 1 令和元年度第 1 回学校運営協議会次第
  - 資料 2 学校運営協議会委員名簿
  - 資料 3 「よろしくお願ひいたします！」校長 鈴木朝代
  - 資料 4 平成 31 年度学校運営グランドデザイン「ユネスコスクール NISHITA」共生プラン
  - 資料 5 西田英語村プロジェクトについて（案）
  - 資料 6 運営協議会 1 年の流れ
  - 資料 7 【学校支援課】平成 31 年度における学校運営協議会の運営等について（依頼）
  - 資料 8 平成 31 年度における学校運営協議会の運営について
  - 資料 9 令和元年度学校運営協議会予算の令達について（通知）
  - 資料 10 【学校支援課】学校運営協議会委員の任命に関する書類送付について
  - 資料 11 ESD 西田おとな学 実践報告会（略して「西田おとな学会」）企画書（案）
  - 資料 12 学校運営協議会だより第 3 号（案）

### 1 会長挨拶

- ・年号が令和となり、鈴木先生が新たな校長として着任された。西田小のさらなる発展を支えるのが私たち学校運営協議会（以下 CS 会議と省略）委員の使命であるので、皆様のご協力をお願いしたい。

### 2 校長挨拶

- ・鈴木校長から着任の挨拶があった。教員となり 2 校目が西田小だったので、校長として戻ってきて懐かしく感じた。子どもたちは、穏やかで挨拶もしっかりでき前向きだと感じた。先生方は力を合わせて意欲的に取り組んでいるので、今後は楽しみである。

### 3 教育委員会より

- ・教育委員会職員からの挨拶と、区内の学校運営協議会の設置状況について説明があった。

### 4 本年度学校経営について（報告）

- ・鈴木校長から資料 4 に基づいて報告があった。
- ・新井副校長から資料 5 に基づいて「西田英語村プロジェクトについて（案）」の説明があった。

## 5 学校運営協議会方針について（協議）

- ・新井副校長から資料 6～10 の説明があった。資料 8 は後ほど目を通してほしいとの要請があった。

<昨年度の振り返りで出た主な意見>

- ・良かった点：PTA との懇談、給食の試食。今後に望むこと：教員との懇談、桃四小のような児童との合同の CS 会議。
- ・桃四小の CS 会議に出席して参考になったので、他校の CS 会議との交流も良いと思う。
- ・児童のことを話し合う時間が少なかったように思う。
- ・資料 8 にある CS 会議の四つの役割の視点から昨年度の活動を振り返ると、いささか物足りない。何が不足しているのか、何をするのが良いのかを知るためには、現状を知る必要がある。児童、PTA、先生の声を聴きたい。
- ・昨年度で最も印象に残ったことは、西田小松溪中の連携が両校のスケジュールが合わないため実現しがたい現状があること。現場に任せるとそれぞれの現場の事情でスケジュールが決まるので、教育委員会等が整理して手段も含めて提案してはどうか。
- ・関連して次の発言があった。目的と着地点が明確でないため、ただ「やろうと努力」しても「できなかった」になる。
- ・PTA が任意加入となり、会員と非会員に分かれた。学校支援本部としては、会員・非会員を問わず働きかけている。会員と非会員に分かれた「成功事例もある」とのことなので知りたい。
- ・PTA の現状：全体 520 世帯中、50 世帯程度が非会員になった。昨年度までは委員会が執行部の一方的な伝達の場であったが、本年度は意見が出るようになって良かった。
- ・PTA と CS 会議の懇談ができると良い。地域の人学校運営にかかわっていることを知らない保護者が大部分なので、知ってもらう良い機会になる。
- ・西田小に係わって 4 年目、ESD 子供発表会や卒業式の発言から子どもたちの自主性などが伸びてきていると感じる。先生たちもしっかり伸びてきている。全体としてよい方向に動いているが、まだ足りない点として、「安心・安全な学校」をどのように守るのが課題。多忙な先生方を CS 会議がどのようにすればサポートできるのか、検討課題である。

人事異動で中核的な人材が出ていき新しい先生が着任された。新しい先生と CS 会議の接点ができると良い。

昨年度は学外の人授業の支援に積極的にかかわっていたので、今後も続けてほしい。CS 会議もお手伝いする。

- ・大きな話は議論されているが、「子どもたちはどうか」についての話し合いが少ないと思う。本年度は「子どもを知る 1 年」「先生との連携強化の 1 年」などを柱にしたらどうか。
- ・CS 会議は一部の会議を除いて傍聴できるが、広報が不十分なので今後努力すべきだ。
- ・鈴木校長から以下の発言があった。①教員と CS 会議の交流は実現したい。桃四小の副校長時代、CS 会議はほぼ教員と一緒にいていた。例えば 16 時 30 分開始で、2 学年ずつ教員が参加するなどの工夫をしたい。②子どもを知る機会として、土曜授業参観、校内研究や普段の授業を見学するなど活用してほしい。③PTA との交流も実現してほしい。土曜授業の後などはどうか。これに関して、新井副校長から、日程を検討したいとの発言があった。

## 6 その他

- ESD 西田おとな学実践報告会

新井副校長から資料 11 に基づいて、ESD 西田おとな学実践報告会（略して「西田おとな学会」）について説明があった。

諏訪会長から以下の発言があり、次回にもっと具体的な案を提案してもらい検討することになった。意図は理解したが、具体的に進めるためには CS 会議の賛成が必要になる。そのためには内容をもっと具体的にする必要があり。CS 会議の数人の委員も加えて検討したらどうか。

新井副校長からもう少し練った案を再提案するとの発言があった。

- 学校運営協議会だより第 3 号

中澤委員から資料 12 に基づいて、学校運営協議会だより第 3 号（案）の説明があった。新入生保護者向けなので、第 2 号に掲載した平成 30 年 4～9 月の活動報告も掲載する。

## 7 事務連絡

- 次回（第 2 回）学校運営協議会について

日時：令和元年 6 月 24 日（月）16 時 30 分から